

令和4年度新入生

学校説明会資料



練馬区立光が丘第三中学校



ご あ い さ つ

校長 蓮池 和彦

『環境は人を育てる』

本校ではこの言葉通り、広々ゆったりとした施設に恵まれ、落ち着いた学習環境と熱意にあふれた教職員そして季節ごとに彩りを変える草花や樹木に囲まれ、生徒たちは学校生活の様々な場面で、自らの可能性を伸ばそうと学習活動に励み、持てる力を伸ばしています。

また、特別支援学級（F組）と特別支援教室（よつばルーム）が設置され、一人一人の生徒に対し、丁寧な指導を行っています。

施設設備の面では、旧光五小との共有施設だった視聴覚室、図書室、体育館（冷暖房完備）は他の学校の約2倍の広さがあり、とても恵まれた環境にあります。

ここまで、本校は、地域の中にある学校として充実、発展し、望ましい校風が培われて、優れた実績を残してきました。

このような環境の中、本校の生徒は様々な活動に主体的に取り組み、その中でも特に自治活動では、生徒全員で取り組むビッグアートが本校の特色になっています。

生徒はとても落ち着いていて、真面目に学習に取り組み、向学心が高く、努力を重ねています。また、部活動は、どの部も活気にあふれ、教職員が熱心に指導にあたっています。

この素晴らしい生徒が様々な課題を主体的に解決し、たくましく生きぬく力が身に付くよう、**社会において自立と共生に向けて行動できる人**として育てていくことが、光三中の大きな使命です。また、今年度も光が丘夏の雲小学校、光が丘秋の陽小学校、光が丘第八小学校と「9年間での継続的な学習指導と生活指導の充実」というテーマで小中一貫教育の研究を推進していきます。

これからも、「人との関わり」を重視しながら、落ち着いた環境の中で確かな学力や豊かな心を育むなど、より一層質の高い教育を提供し、安全・安心で信頼される学校にし、責任をもってお子様の教育にあたってまいります。校名にちなみ三つの輝き《知の輝き》《心の輝き》《身体の輝き》、それぞれの場面でバランスよく、生き生きと光り輝いて活動することで、子供たちは大きく成長します。光三中に入学して、光り輝く中学校生活をぜひ謳歌させてください。

ご入学をお待ちしています。



校章の心



光三中がある光が丘のイメージは、「明るさ」や未来に向けての「可能性」やそこに生活する人々の個性を大切にした上での「連帯」などがあげられます。それらは、平和の象徴であり、創造的な生活であり、人間的な生き方の基本でもあります。

光三中が開校した昭和63年は、21世紀にむけて人間性豊かで創造性があり、国際感覚を身に付けた人々が、平和な世界を築きあげていくことを求められている時代でした。

このようなとき開校した本校の校章は、保護者・生徒の応募を経て、美術科の先生のまとめによりできあがりしました。このデザインの中心は光の広がる様子を表し、「中」の字の両側の

「三」は三中の三と同時に、未来にむけて大きくはばたく翼を表しています。下の「V」の字は光の広がりや翼をしっかりとささえ、協力し連帯する人々の手をイメージしています。

光三中生は、大いなる未来にむかって、明るくすこやかに、手を取りあってはばたいていきます。

1 教育目標

- 1 深く考え、自ら実行する
- 2 思いやりの心で協力する
- 3 美しい心、たくましい体をつくる

◇教育目標を達成するための基本方針（抜すい）

人権尊重の精神に基づき、一人一人を大切に育てます。美化活動を重視し、教育環境の整備に努め、教職員の協力体制のもとに一貫性のある指導を行います。

◇特色ある教育活動（令和3年度）

- ① 数学科・英語科の全授業で習熟度別の少人数授業を実施し、きめ細かく一人一人の指導にあたり、生徒の学ぶ意欲や学力向上に努める。
- ② 学校支援コーディネーターと連携し、積極的に地域の人材を活用し、長期休業中の学習補充教室、地域未来塾などの取り組みを充実させ、生徒の学力向上を図る。
- ③ 防災教育の充実を図り、生徒一人一人の災害に備える意識を高める。
- ④ 学校行事等での特別支援学級と通常の学級の交流を促進し、思いやりの心をはぐくむ。
- ⑤ 幼稚園・小学校との学校行事や部活動等での交流を促進し、異年齢の児童・生徒がふれあう機会を通して、優しさや思いやりの心をはぐくむ。
- ⑥ 光が丘夏の雲小学校、光が丘秋の陽小学校、光が丘第八小学校と合同で授業改善と交流活動を推進し、「9年間での継続的な学習指導・生活指導の充実」を主題に掲げ、小中一貫教育の充実を図る。
- ⑦ 給食試食会などを通して家庭とともに、食育の推進、健康の保持増進に努める。
- ⑧ 部活動を充実し、生徒の体力向上及び集団への帰属意識の向上を図る。
- ⑨ 生き方講演会を実施し、人との関わりを学び、自己の生き方を考えさせ、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。
- ⑩ マナー講習会、職業調べ、職場体験、上級学校合同相談会を通して、体験活動を充実し、キャリア教育の推進を図る。
- ⑪ 生徒や保護者による学校評価結果及び学校評議員会を基に、地域の人々の期待に応え、教育活動を充実する。
- ⑫ 学校公開やホームページの随時更新、学校だよりの発行等を通して、開かれた学校づくりを推進する。

◇光が丘三中の歴史

昭和62年	3月14日	練馬区立光が丘第三中学校 建築着工
昭和63年	3月31日	練馬区立光が丘第三中学校 校舎竣工
	4月1日	練馬区立光が丘第三中学校 開校
		初代校長 村上完司着任
	4月7日	第1回入学式 (新入生 男55名、女44名、心障5名 計104名)
	5月1日	開校記念日制定、校旗完成
	11月1日	校章制定
平成元年	2月15日	校歌制定
	3月20日	第1回卒業式(卒業生 男20名、女25名 計45名)
平成2年	1月23日	区指定 研究発表
	4月11日	文部省 研究指定
平成3年	2月8日	心障学級 研究発表
平成4年	1月30日	文部省指定 区指定 研究発表
	4月1日	第2代校長 今井克巳着任
平成7年	4月1日	第3代校長 市川堅一郎着任
平成9年	1月25日	心障学級 区指定 研究発表
平成10年	4月1日	第4代校長 関本恵一着任
	11月2日	開校10周年記念式典
平成15年	2月7日	心障学級 区指定 研究発表
	4月1日	第5代校長 稲葉邦男着任
平成18年	4月1日	第6代校長 小林一英着任
平成20年	11月29日	開校20周年記念式典
	12月16日	練馬区特別支援学級研究発表校研究発表会
平成21年	2月13日	練馬区教育課題研究指定校研究発表会
	4月1日	第7代校長 渡辺政義着任
平成24年	4月1日	第8代校長 室賀 薫着任
平成27年	4月1日	第9代校長 眞々田 透着任
平成29年	1月31日	練馬区特別支援学級研究発表校研究発表会
平成30年	10月13日	開校30周年記念式典
平成31年	4月1日	特別支援学級(よつば学級)開室
令和3年	1月25日	タブレットパソコン全校配布
令和3年	4月1日	第10代校長 蓮池 和彦着任

2 中学校の生活

(1) 学習について

中学校の学習は、小学校で学んだことを基にして勉強していきます。それほど難しいことを学ぶわけではありません。しかし、必ず予習や復習をするなど自分から進んで行う自主的な学習態度が必要です。

どの教科にもいえることですが、特に国語や数学、英語は1年からの学習の積み重ねが大切となります。小学校での基礎的なことが身に付いていないところは、冬休みや春休み中に確認し復習しておきます。

① 中学校では、どんな勉強をするのでしょうか。(令和3年度) *表中の数字は、1週間の授業時数です。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

・学習は、教科の勉強だけではありません。学習には、道徳・学級活動・総合的な学習の時間、諸行事など多くのものが含まれています。

- ・国語の授業には書写（習字）の時間もあります。
- ・数学、英語の授業は少人数授業を行います。4月当初から習熟度別授業を行います。
- ・英語の授業が本格的に始まります。外国人の先生との時間もあります。毎日根気よく、反復練習を心がけます。
- ・保健体育は男女別に学習しますが、実技だけでなく保健についても勉強します。
- ・学級活動の中には進路学習や安全指導についても含まれています。

② 教科ごとに先生が変わります。

小学校高学年の家庭、音楽、図工などと同じように、どの教科も先生が変わります。道徳と学級活動は、学級担任の先生が指導します。総合的な学習の時間は学年所属全員の先生で指導します。

③ 学習評価について

学習成績や到達度を知るために定期考査を行います。定期考査は1学期と2学期に中間と期末の試験があり、3学期は学年末考査を行います。学習の評価・評定は、テストの成績だけではなく学習への「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を、様々な資料をもとにして、総合的に評価し、その総括として評定を出します。

④ 日課表（生活時程表）〔令和3年度〕

校時		月	火	水	木	金	土
	8:20～	朝読書					
	8:25～ 8:35	出席確認・朝学活					
1校時	8:45～ 9:35	○	○	道徳	○	○	○
2校時	9:45～10:35	○	○	○	○	○	○
3校時	10:45～11:35	○	○	○	○	○	○
4校時	11:45～12:35	○	○	○	○	○	
給食	12:35～13:05						
昼休み	13:05～13:25						
5校時	13:30～14:20	○	○	○	○	○	
6校時	14:30～15:20	○	○		○	学活	
学級活動・清掃	15:20～15:45						
下校	15:45（水は14:45、土は12:00）						

※振替休業日なしの土曜日授業は、年間8回実施。

※部活動などの最終下校時刻は、夏期（3月～10月）18:30、冬期（11月～2月）18:00

⑤時間割について

学期ごとに3回変わります。

⑥教科書や教科以外の教材について

- ・教科書は、入学後配布します。
- ・教科書以外の副読本や資料集、教材等については、それぞれ必要なものを入学後にお知らせします。それをまとめて教材費として納入していただきます。月々、給食費と一緒に金融機関（ゆうちょ銀行）に振り込んでいただきます。手続き、方法は入学説明会時（2月予定）に説明します。
- ・参考書や辞書類について必要がある時は、授業のとき教科担任から紹介します。

(2) 年間予定について (令和3年度)

- 4月…始業式、入学式、新入生歓迎会、部活動説明会、健康診断、保護者会、教育相談〔1年・F組〕、身体測定、離任式
- 5月…学校公開週間、生徒総会、運動会、中間考査
- 6月…水泳指導始、スポーツテスト、セーフティ教室、移動教室〔F組〕、期末考査
- 7月…道徳授業地区公開講座、終業式、夏季学習補充教室、教育面談
- 8月…夏季休業日
- 9月…始業式、区一斉防災訓練、職場体験〔2年〕、上級学校合同相談会、生徒会役員選挙、修学旅行〔3年〕
- 10月…中間考査、学校公開週間、生徒総会、合唱コンクール
- 11月…進路面談〔3年〕、情報モラル講習会、クリーン運動〔1年〕、期末考査
- 12月…進路面談〔3年〕、教育相談〔1・2年・F組〕、校内ダンス発表会〔1年〕、終業式
- 1月…始業式、スキー移動教室〔F組〕、校外学習〔1年・2年〕
- 2月…スキー移動教室〔2年〕、校外学習〔F組〕、学年末考査
- 3月…校内作品展、3年生を送る会、卒業式、保護者会〔1年・2年・3年〕、修了式

※学校行事は中学校生活をより楽しく豊かにするために行われるものです。年度により実施時期の変更があります。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため延期・中止となる行事もあります。

3 生活のきまりなどについて

光が丘三中では、きまりを少なくし、のびのびとした環境の中で、自分達力で解決していく、主体的な生徒を育てようと考えています。しかし集団生活上必要なルールなどはあります。

(1) 1日の流れ

- | | |
|--------------|---|
| 登校 | ・決められた時間までに登校しましょう。・手洗いとうがいを済ませてから教室へ |
| 日直の仕事 | ・あいさつは、進んで元気にしましょう。
・日直は、登校したら窓を開け教室の環境を整え、日誌を職員室に取りに行き連絡黒板（初付ボード）の連絡事項をクラスで伝えましょう。 |
| 朝読書 | ・5分前行動で余裕を持って登校して静かな環境の中で本を読みましょう。 |
| 朝の学活 | ・読むことの楽しさを味わいましょう。
・先生が教室に到着したら、係は、号令をかけましょう。 |
| 授業 | ・出欠席や、一日の生活の確認します。
・委員会等の連絡のあるときは、前に出て確実に伝えましょう。
・チャイムが鳴る前に席に着きましょう。（教室の移動は、休み時間内に）
・教科係は、先生の連絡や指示を正しく、確実にクラスへ伝えましょう。
・始め、終わりのあいさつをしましょう。
・学級委員の指示にしたがいましょう。 |
| 給食 | ・1時間、1時間を大切にしましょう。
・当番は手を洗い、白衣をつけ、きめられた仕事をしましょう。（全員、当番に協力しましょう）早く準備し、ゆっくり味わって食べましょう。
・かたづけは、決められたやり方で、きれいに行いましょう。
（机の整とんも忘れない） |
| 昼休み | ・給食終了のチャイムが鳴るまで、教室を出てはいけません。
・天気の良い日は、校庭に出て遊びましょう。 |
| 帰りの会 | ・終了のチャイムが鳴ったら校舎に入りましょう。
・最後の授業が終わったらすぐに帰りの会が始まります。 |
| 清掃活動 | ・係・委員会等の連絡を連絡黒板にきちんと書いておきましょう。
・全員で協力し、早く、きれいに行いましょう。 |
| 下校 | ・用具を大切に使いましょう。
・下校時刻を守りましょう。 |

- ・居残りをする場合は、担当の先生に許可を受けましょう。
- ・下校途中に寄道をしてはいけません。(一度、家に帰りましょう)
- ・通学途中で先生や主事さん、友達や知人に会ったら、進んであいさつをしましょう。
- ・校舎内で先生や来客には軽く会釈をしましょう。
- ・出入りするときは、あいさつをしっかりとしましょう。
- ・用件をはっきり伝えましょう。
- ・朝の打ち合わせの時間と、定期テスト前後1週間は入室禁止です。
- ・自転車通学、アルバイトは禁止です。
- ・持ちものには必ず記名をしましょう。
- ・学習に必要なものを持ってきてはいけません。

(2) 服装などのきまり

		男子	女子
標準服	冬期	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレザー、ズボン(指定のもの) ・白のワイシャツ、校章(胸章) ・白靴下(くるぶしが隠れるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレザー スカート ベスト (指定のもの) ・白のブラウス、ワイシャツ、校章(胸章) ・白靴下(くるぶしが隠れるもの)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ネクタイを着用(指定のもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リボンを着用(指定のもの)
	夏期	<ul style="list-style-type: none"> ・ズボン ・白ワイシャツ ・白靴下(くるぶしが隠れるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート ベスト ・白ブラウス、ワイシャツ ・白靴下(くるぶしが隠れるもの)
カバン		<ul style="list-style-type: none"> ・自由。荷物が多いので大きめのものがよい。両手が空く背負う形が望ましい。 	
靴・上履き		<ul style="list-style-type: none"> ・外履きは運動靴。(革靴等は入学式を含めて在学中一切使用しません。) 上履き(体育館履きを兼ねる)は指定されたもの。 	
防寒着		<ul style="list-style-type: none"> ・黒、紺、グレーのVネックのセーターをブレザーの下に着たり、コートを着用〔12月～3月〕したりして通学してもよい。 	
体育着	夏	<ul style="list-style-type: none"> ・上-白半そで丸首シャツ 学校マーク入り 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・下-紺ハーフパンツ 	<ul style="list-style-type: none"> 下-紺ハーフパンツ
	冬	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定のジャージ上・下(刺繍の名前入り) 	

(3) 生徒の自主的な活動

○生徒会を中心に、各専門委員会による自主的な活動が進められています。

- ・専門委員会…学級、体育、放送、保健、給食、美化、図書各委員会
- ・中央委員会…生徒会役員、各学級委員と専門委員会の委員長が集まって、生徒の活動の内容を審議します。中学校の生活を楽しく、また規律正しいものにし、よりよい「光三中の校風、伝統」をつくるため、行事もテーマを決めて取り組んでいます。

年度	運動会スローガン	ビッグアート
14年	「負けて泣くなら、勝って泣け」	「光」
15年	「一走入魂 全身全霊を込めて」	「虹」
16年	「All for one One for all」	「Discovery」
17年	「走れ 跳べ疾風の如く 勝利へと！」	「魂-Soul」
18年	「友情・努力・根性でつかみとれ 最高の感動を！」	「∞-無限」
19年	「燃えあがれ-熱き魂 この大空を 突き 抜ける！」	「BRAND NEW」
20年	「一致団結、最大限の力を今ここに！」	「レジェンド(伝説)」
21年	「信じて走れ！ チームワークに限界はない！」	「Vista」
22年	「見せてやれ 勝利の女神に この魂！」	「Courage」
23年	「今、一つになる時 つなげよう魂のバトン！」	「Legacy」
24年	「見せつけろ！ ロンドンより強く耀く団結力」	「和」
25年	「Victory Road 仲間を信じて駆け抜けろ！！」	「moment」
26年	「目指すは一つ、仲間とともに頂点へ」	「桜」
27年	「放て輝け 四色(ししき)の魂(こころ)」	「気炎万丈」
28年	「～鼓舞～ 一致団結 勝利の道へ」	「彩(いろどり)」
29年	「堅守強攻 ～鎬を削れ 己を磨け～」	「蒼穹」
30年	「不撓不屈 ～炎となって最後まで～」	「DESTINY」
元年	「猪突猛進～駆け抜けろ勝利の道へ～」	「創造」
2年	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	「Bright Future」
3年	「戮力協心～挑め無限の可能性～」	「百花繚乱」

(4) 部活動

放課後、希望者を対象に行う活動を部活動と呼んでいます。

参加は自由ですが、多くの生徒が入っています。令和3年度の部活動を紹介します。

運動部	サッカー、女子ソフトテニス、女子バレーボール、男子・女子バスケットボール、卓球、陸上競技
文化部	吹奏楽、美術、家庭科、園芸、伝統文化、地域研究
特別支援学級内	陸上、球技、ものづくり、家庭科、音楽、文化

注) 各部の存続・廃止や活動の詳細(活動日など)は、年度ごとに確認をします。
正式に開設される部は、入学後の説明会において通知します。

(5) 本校の施設上の特色

- 1 オープンスペースが各階にあり、学年の集会や行事の展示発表などに利用しています。
- 2 体育館は、公立学校の中では他校の2倍近い広さがあり冷暖房完備です。
- 3 特別支援学級の設置校です。(詳細は次項で)

4 特別支援学級について

特別支援学級では、子どもの発達を保障する教育をめざし、総合的な学力、体力、情操、働く力を身に付けることをねらいに、日々教育活動を行っています。

学級数・在籍生徒数（令和3. 9. 30現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
5	男	10	6	9	25
	女	6	2	4	12
	計	16	8	13	37

なり得る最高の自分を目指して！

学習



F組では、自立と社会参加を目指し、生活や行事などにリンクしながら、日常生活に生かせる内容を学習します。国語と数学は、課題別のグループ編成で、極細かく個々の課題に取り組んでいます。教科によって、課題別小グループや学年別授業など、学習の形態も様々です。

主な行事



運動会はF組が1つのクラスとして参加しています。イカダ流しや全員リレーなど団体種目も頑張ります。



一昨年の夏の移動教室は岩井で行いました。鴨川シーワールドのバックヤード見学は貴重な体験でした。



合唱コンクールもF組が1つのクラスとして発表をします。一昨年は「道」「リフレインリグレッツ」の2曲を発表しました。



八校合同文化発表会では、劇に取り組めます。「どろぼう学校」をオリジナル台本でコミカル演じました。たくさん笑っていただきました！



スキー移動教室は2泊3日軽井沢で毎年行っています。インストラクターさんの講習で、驚くほど上手になっていきます。



3月の卒業式を前に、学級のお別れ会があります。お礼の言葉や感謝の気持ちを、心を込めて伝えます。

部活動



陸上部では、朝マラソンをやっています。自分で周回を決めて、走っています。



ものづくり部では、紙工作や絵を描いたり、寄せ木細工を作ったりします。



球技部では、バドミントンやサッカー、野球など、いろいろな球技を楽しみます。



音楽部では、キーボードやリコーダーなどを使って、好きな曲を演奏します。

(1) 特別支援学級の教育目標 (令和3年度)

- ① 基礎的な学力を身に付けさせ、豊かな情操を養う
- ② 基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会的自立の基礎として生活力を育てる
- ③ 健康な身体と、興味をもって、根気強くやりぬく意欲を育てる
- ④ 人と豊かにかかわり、協力する態度を養う

(2) 今年度の教育内容と週時数

国語	4時間	6グループに分け、読み書きを中心に表現力を育成する。
社会	1時間	身近な地域、基本的な地理や歴史の知識を身に付ける。
数学	4時間	6グループに分け、数量やお金、時計など日常の生活に必要な力を育成する。
理科	1時間	身近な科学的ことがらについて理解を深める。
英語	1時間	身近な英単語を学び、簡単な会話を修得し、英語に親しむ。
音楽	2時間	歌唱、演奏を通して、情操を養うとともに、表現する喜びを体験する。
美術	2時間	絵画、版画などの作品を作り、表現する喜びを体験する。
体育	4時間	基礎的な体力の向上を図りながら運動を楽しみ、集団の中でのルールを守り、協力する態度を養う。
技術	2時間	基本的な道具の使い方と技術を覚え、木工作品を製作する。
家庭	3時間	日常生活に必要な衣・食・住などの理解と技能を養う。
総合	2時間	生きる力を身に付けることを目標とした活動に取り組む。
学活	1時間	集団の中で話したり聞いたりする力や自治の力を身に付ける。
道徳	1時間	規範意識、思いやりの心などをはぐくむ。
生単	1時間	行事の事前学習、事後学習をする。

(3) 行事

宿泊行事は夏季の移動教室が2泊3日、冬季のスキー移動教室が3泊4日です。
その他、特別支援学級の行事として、区内八校合同文化発表会、お別れ会などがあります。

(4) 指導にあたって

特別支援学級では一人一人の障害やニーズを把握し、全教職員が共通理解を図り、生徒の社会的自立を目指して支援するとともに、豊かな人間関係を築く中で楽しい学校生活を送れるよう指導しています。

5 特別支援教室（よつばルーム）について

令和元年度より、練馬区ではすべての小中学校に特別支援教室が設置されました。

特別支援教室では、発達障害や特定分野の学習活動や行動調整がうまくいかず、対人関係や集団への適応に困難さがある生徒を対象に、週に1回、2時間ほど巡回指導教員が自立活動の指導や支援を行います。

(1) 入級対象生徒

練馬区中学校の普通学級に在籍の以下のような生徒が対象です。

- ① 基本的には全体的に知的発達の遅れがなく、通常の学習活動におおむね参加ができる生徒。
- ② 発達障害が認められ、週1回の通室が必要と思われる生徒。
具体的には、知的障害がないASD（自閉症スペクトラム障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、LD（学習障害）などの発達障害がある生徒。
- ③ 特定分野の学習活動や行動調整がうまくいかず、対人関係や集団への適応に困難を示している生徒。

(2) 教育目標

教育活動全体を通して心の安定を図り、在籍校・家庭での生活の充実を目指す。

- ① 達成感を積み重ね、自己肯定感を高める。
- ② 学習に主体的に取り組み、学ぶ楽しみを味わわせる。
- ③ 人間関係を深め、豊かな人間性を養う。
- ④ 体験的な学習・活動を通して、社会性を伸ばす。

(3) 指導の内容

- ① 教育相談（個別指導）
本人から家庭生活や在籍校の話聞きながら、生活の実態を理解し、悩みや課題を把握していく。本人が自分の気持ちを理解し、問題に気づいたりできるよう支援する。
必要に応じて、担任の先生や保護者と連絡を取り合い、具体的な解決を図っていく。
- ② 課題に応じた学習
学習のつまずきの特徴や情報処理の偏りを考慮して、一例として以下のような指導課題を設定し、生徒個々の特性に合わせて支援の方法や教材を創意・工夫して指導していく。
 - ・学習習慣や学習方法定着させるための指導。
 - ・注意を向けて聞き取る、体験を順序だてて表現する指導。
 - ・読み書き障害に起因する困難への対処、PCを取り入れた指導。
- ③ 技能的学習
作業を通して集中力や手先の巧緻性を高め、作り上げることで自己肯定感を育てる。
また、他の生徒との共同作業を通して、作業手順の理解や自己統制力の向上、他者の理解や協調性などの対人関係能力の向上を図る。
- ④ 体育的活動
不器用さや協調運動障害を併せもつ生徒に対して、基礎体力・運動のバランスやコントロール・協応運動の向上を図る。また、楽しく運動しながら人と関わることで情緒の安定を図り、スポーツ・レクリエーションを楽しむ態度や習慣を養う。
- ⑤ コミュニケーション指導
対話の基本的な態度・技能の指導や、会話の練習をしながら社会的ルールに従った行動様式を身に付け、人間関係の築き方を体得させる。
- ⑥ 脳の活性化を図るトレーニング
視能訓練、聞き取り訓練、ブレインジム、論理脳トレーニングをはじめとした、脳の活性化を図るトレーニングを入れることにより、各自の苦手な分野の改善や補填機能を育てる。
- ⑦ グループ学習
他人と協力したり、かかわりを持ったりする中で成立する授業の体験を積むことで、小集団での学習にふさわしい態度とコミュニケーション能力を養う。

国公立

	男子	女子	計
赤羽北桜	0	1	1
浅草	0	1	1
井草	3	2	5
板橋	1	2	3
板橋特支	3	1	4
板橋有徳	1	4	5
大泉	1	1	2
大泉桜	1	1	2
北園	1	0	1
清瀬	1	0	1
桐ヶ丘	1	0	1
駒場	1	0	1
鷺宮	0	1	1
志村学園	1	2	3
石神井	0	3	3
杉並	1	2	3
杉並総合	1	1	2
高島	1	2	3
田柄	0	3	3
千早	0	1	1
豊島	1	1	2
西	1	0	1
練馬	2	0	2
練馬工業	3	1	4
練馬特支	1	2	3
白鷗	1	0	1
東久留米総合	1	0	1
光丘	1	2	3
日比谷	0	1	1
文京	1	1	2
三田	0	1	1
稔ヶ丘	1	0	1
武蔵丘	1	1	2

私立

	男子	女子	計
青山学院	1	0	1
朝出学園	1	0	1
関東国際	1	0	1
錦城学園	0	1	1
慶應義塾	2	0	2
國學院	1	2	3
実践学園	0	1	1
品川エトワール	0	1	1
品川翔英	1	0	1
十文字	0	1	1
淑徳	0	2	2
順天	1	0	1
城北埼玉	1	0	1
杉並学院	1	0	1
西武文理	1	0	1
専修大学付属	2	0	2
大成	1	0	1
中央大学杉並	2	2	4
東洋	0	1	1
東洋女子	0	1	1
東洋大学京北	1	0	1
豊島岡女子	0	1	1
豊島学院	1	4	5
日大鶴ヶ丘	1	0	1
日本大学豊山	2	0	2
日本ウェルネス	0	1	1
広尾学園小石川	1	1	2
宝仙	0	1	1
豊南	4	2	6
北海道芸術	1	0	1
堀越	1	0	1
武蔵野	1	2	3
明治大学付属中野	1	0	1
明治大学付属明治	0	1	1
目白研心	1	1	2
わせがく	0	1	1
N	0	1	1

	男子	女子	計
国公立	32	38	70
私立	31	28	59
就職	0	0	0
合計	63	66	129

7 諸経費

学習活動における必要な経費は、給食費と合計した額を月々に割って、指定金融機関（ゆうちょ銀行）に自動引き落としにて納入していただきます。自動支払いのための手続き・書類は2月に行われる入学説明会にて説明いたします。

*給食は、光が丘夏の雲小学校と親子方式をとっており、本校の調理室で作っています。原則的には毎日ですが、行事の内容によっては給食がない時もあります。その際は、事前に連絡します。

*諸経費の年額は以下の通りです。（令和3年度入学生の例）

給食費 65,268円 教材費 29,500円

*給食費と教材費以外に、入学前に前述の標準服、運動着や上履きなどの費用がかかります。

運動着や上履きの採寸などは、入学説明会時（2月予定）にご連絡申し上げます。

*宿泊行事などの費用も必要になります。各行事の前に銀行振り込みによる引き落としにて対応いたします。学校より連絡がありますのでよろしくお願いいたします。

8 家庭と学校の協力について

中学生生活は、今までの小学校生活とくらべて違うところが出てきます。ご家庭にご協力いただき、リズムのある学校生活を築いてあげることが大切です。

- (1) 親と子の関係が徐々に変化していきます。お互いの人格をしっかりと認め合える関係にしたいものです。学校では子供あつかいしません。任されて対応できる子、自分から行動できる生徒を育てたいと思っています。自立への第一歩です。
- (2) 1日のスケジュールを考え、子供が意欲をもつことをできるだけ大切にしていましょ。
- (3) しつけの基本は家庭で行って下さい。小さなことをしつけるにも時間がかかるものです。あいさつ、食事のマナー、服装、金銭の使い方、交通道德など、自らの品位に関することや、他へ迷惑をかけないことは身に付けさせたいものです。
- (4) 学校との連絡は密にとっていましょ。欠席等の届けは確実に行って下さい。また、学校からの印刷物は確実に見るようにしてください。成長の過程でいろいろな心配ごとが出る時期

- です。常に家庭と学校双方で連絡をとりあって、健やかに成長してもらいたいものです。
- (5) 中学生になると生活の範囲が広がります。校外生活にも目を向けて下さい。そのためにも次のことを大切にしてください。
- ①ふだんから話し合える家庭の雰囲気をつくっておく。
 - ②家族・親子同士が話し合えたり、連絡できる状況をつくったりしておく。
 - ③子供の交友関係を把握し、自分の子供だけでなく、どこの子供にも声をかける。 など
- (6) 3年間をかけて進路について考えていかなければなりません。進路を考えることは、「今をどのように過ごしていくか」を考えることです。毎日の学習にまじめに取り組み、充実した学校生活を送れるようにしていくことが大切なことです。家庭としては、いつも勇気を与え、励ましてあげる姿勢が大切です。同時にお子様の能力・適性をしっかりみきわめてあげる時期でもあります。
- (7) 開校とともに「保護者と教職員の会」という組織ができています。お子様の入学とともに会員となり、学校と家庭が協力連携する場となっています。御協力下さい。

◆令和4年度新入生保護者向け入学説明会

令和4年2月10日(木) 本校視聴覚室15:00～

入学式などの案内は、入学説明会にてお知らせいたします。

◇標準服、運動着や上履きなどの採寸日

令和4年2月予定(土曜日または日曜日に実施)

2月10日(木)の入学説明会時に詳細をご連絡します。

ご都合がつかない場合は直接お店で採寸し、購入することもできます。